

ICE CUBE

Whitepaper

Date : 21th June, 2022

目次

- OUR STORY
- 概要
- プロジェクト
- 核心
- NFT Earn 1(ステーキングシステム)
- NFT Earn 2(ステーキングシステム)
- NFT Earn 3(ステーキングシステム)
- ステーク・まとめ
- NFT のさらなる可能性
 - チャレンジ 1
 - チャレンジ 2
- NFT に書き込まれる情報
- 資産の現金化
- コミュニティガバナンス投票
- ICE METAL COIN に関して
- Smart Lab プラットフォームプロダクト
- ロードマップ
- チーム
- 免責事項
-

OUR STORY

世界で最も古くから存在する金。金が発見されたのは、じつに古く、紀元前5000年前ともいわれています。当時はもちろん金鉱石から金を取り出す技術などあろうはずもなく、自然金の形で発見されたものと思われます。古代人は、初めて見た金にどのような反応を示したのでしょうか？他の石に混ざりながらも褐色の色をして、ふと目に留まり、手にとり、どう感じたのでしょうか。金を見つけながらもただの石として誰も振り向かなかった時期もあったのかもしれませんが、誰かが特別の存在として気づき、そして、それは瞬く間に世界に広がったのです。あるところでは、信仰のシンボルとして、あるところでは最高の装飾品として。

話を私たちの世界に戻すと、2021年、世界を驚かせた発見がありました。それはNFTです。

しかし、実はNFTは遡ること5年、2016年に誕生していたのです。それは多くの人にとって興味のないニュースでした。なぜならNFTが何なのか、何に利用できるのか、全くわからなかったからです。そして現在、NFT市場は、類を見ないスピードで成長し、4兆円産業に様変わりしました。私たちが、この事実に触れる時、紀元前5000年に金を見つけた人たちと全く同じ反応を示しているのではないかと思うのです。

金の価値に気づかず路傍の石として見過ごした5年間、金の輝きに気づいた2021年、そしてあらゆる業界が金の加工に邁進している現在・・・
今のNFTテクノロジーはまさに採掘したての金と同じです。

概要

2017 年末に CryptoKitties の誕生によって生まれた NFT は、2021 年に世界的な広がりを見せながら 1 年足らずで 4 兆円規模のマーケットを形成しました。2022 年、急速に社会経済が不透明さを増す中であっても、確実に NFT 市場を定着させつつあります。

この 1 年の動きはコレクタブル NFT としての収集から始まり、さらにはセカンダリーマーケットにおいて積極的に売買が行われてきました。NFT の技術はアート業界に留まらず、音楽、動画、ゲーム、VR アイテムなどにも用いられ、世界というボーダーラインの垣根を無くし、私たちの日常生活にますます密接に関わってきています。

しかしながら現在、NFT がメインストリームになればなるほど、全く価値のないものや、作品とは呼べないようなものまでもが NFT となり、あたかも価値が上がるかのように見せかけて販売・流通されているのが散見されます。また、意味のない NFT 技術の活用も増えてしまい、正しい価値の評価が誰もできず、作り手、買い手双方が、混とんとしていることも認めなければなりません。

これらの問題は、NFT という言葉が独り歩きをして、皆、NFT 化することが目的となってしまう、本来の、なぜ NFT 技術を用いるのか、ということが抜けてしまっているからおきているのです。

私たちが重要視していることは、全てを NFT 化しようではありません。価値あるものの NFT 化を推奨し、その NFT の価値を毀損することなく高めていこうということです。100 年後、改ざん不能な技術により、その NFT が唯一無二として全く変わらず存在し、スマートコントラクトに書かれた内容を正確に履行する、私たちが考える本当の NFT とは、極めて透明性の高い技術の実用化であると考えています。そして 2022 年現在、最も注目されていることが資産証明としての NFT 活用です。世の中はいま、ものすごいスピードで変革が起きています。特に金融市場とブロックチェーンの世界でそれは始まっているのです。そして、その変革の波は短い時間であらゆる業態に波及するでしょう。

私たちは次世代の資産が、不動産や株ではなく NFT であると確信しています。資産を NFT 化する、資産を毀損させることなく価値を高める。これが私たちのプロジェクトであり、まだ生まれたばかりのテクノロジーである NFT をもちいて実現させる全く新しい資産所有の形なのです。さらには今後、メタバース空間が経済の主流となっていく中で、その主流に NFT が活用される未来を構築していきたいと考えています。

プロジェクト

私たちは希少性の高い金属の NFT 化に着手します。

まず初めに GOLD、地球上でもっとも古い資産と言われる GOLD は、経済動向に左右されずに安定した資産として扱われます。特に近年の激動する社会情勢の中、「有事の金」と称される GOLD の価格は急上昇しています。その絶対的現物資産である GOLD と、最も新しい NFT という技術を融合させることに意義があると感じています。

25 年金価格推移(グラム当たり)



実は、NFT 自体に価値はありません。なぜなら NFT とは技術の一つだからです。価値そのものは、NFT に格納されている実態につきます。それがアートなのか、不動産なのか、あるいは何かしらの権利収入なのか、様々です。私たちが一番初めに取り組んだのが GOLD を NFT に格納することです。

核心

なぜ GOLD を NFT 化するのか、すでに GOLD など資産の電子化は進んでおり、それらと何が違うのか。

GOLD に限らず、現物資産の電子化はこの 20 年で急速に進んでいます。さらにその仕組みはすでに完成形をなして、今更、資産の電子化を図る必要がありません。しかし、NFT 化は電子化とは根底が違います。NFT 化は改ざん不能なブロックチェーン上に存在し、さらにスマートコントラクトを書き込むことで自動的に契約を履行させることができます。

例えば 1,000 万円分の GOLD を購入したとします。1 年後、GOLD の価

格が20%上がり、1,200万円で売却できました。200万円の利益です。しかし、もし価格が10%下がったなら900万円となり、逆に100万円の損失です。つまりGOLDの利益は、購入時の価格より上がったのか、下がったのかの価格変動によります。その単純な仕組みのGOLDをNFTに格納することで、全く違う新たな収益を生み出すことができるのです。さらに基軸となるGOLDの資産を危険にさらすことなく収益を生み出せるのです。

不動産と少し似ています。ビルを購入すると、その土地の価格変動によってビルの価値が変わりますが、それとは別に、空き部屋を第三者に貸すことで得ることのできる家賃収入が発生します。私たちの資産のNFT化は、今までその資産の価格変動によってしか利益が作れなかったものに対して、NFT化することによって、不動産でいう家賃収入にかわる利益（インカムゲイン）を作り出すことができるのです。これは革命的なことであり、今後の資産所有の方法が大きく変わることになるでしょう。

NFT Earn (ステーキングシステム)

資産が格納されたNFTを資産付きNFTと呼びます。ユーザーは、この資産付きNFTをステーキングすることで、新たなトークン（ICE METAL COIN）を得ることができます。

また、ステーキングを実施しているユーザーを対象に、希少なNFTの先行販売や購入する際のポイントを付与します。

NFT Earn 2 (トークンエコシステム)

プロジェクトの初期ユーザーやアーリーアダプターを対象として、ICE CUBEエコシステムに貢献し、参加してもらうため、持続可能なトークンエコシステムを構築していきます。

また、ICE METAL COIN を中長期的に持つことを目的としたユーザーに対して、利益を提供するためのLPステーキングを実施します。

NFT Earn 3 (権利収入)

プロジェクト参加者が購入する資産付きNFTは、セカンダリー市場で2次流通するたびに5%のロイヤリティがプロジェクト参加者に支払われます。

ステークまとめ

- 資産付き NFT をステークして、ICE METAL COIN を受け取る。
- ICE METAL COIN と対象通貨のペアを流動性として提供し、受領した LP トークンをステークすることで、USDT を受け取る。
- 上記のステーキングを実施したユーザーに対して、Giveaway を実施します。

ICE CUBE プロジェクトの全ての参加者に報いること、そしてコミュニティへの参加を促すことを大事にします。ユーザーは購入した資産付き NFT を売買せずとも、ステーキングや2次手数料によって追加の収入を得ることができます。ステーキングで得た ICE METAL COIN はさらにトークンとの LP ステーキングによって USDT を得ることができるのです。これらの仕組みは、ICE CUBE プロジェクト全体に価値をもたらすと考えています。

NFT のさらなる可能性

チャレンジ 1

私たちは、アーティストが制作する NFT 作品に関しても、価値の向上と保全を目的とした資産付き NFT を提案しようとして取り組んでいます。ART が作り出す創造性と希少性、資産による価値の保全、このような NFT 作品の価値が上がらない理由がありません。

チャレンジ 2

メタバース上に鉱山を作り、ICE METAL COIN で NFT 化したアイテム（スコップ等）を購入、そのスコップを使用して鉱山から金やプラチナ（資産付き NFT）などを掘り出す Play to Earn 空間を構築します。

NFT に書き込まれる情報

NFT 発行会社

Smart Lab Inc. : D1005, 383 Kalaimoku Street, Honolulu, HI 96815

資産（貴金属）所有会社

Scott Westpac LLC

品質証明 (Quality Warranty)

Au RIC Metallurgical Laboratories LLC が検査証明書を NFT で発行。

保管証明 (Storage Warranty)

Brinks Inc.にて保管。

資産の現金化

資産付き NFT は、最終的に NFT に格納されている資産と現物資産の交換ができます。

コミュニティガバナンス投票

ガバナンストークンである ICE METAL COIN は、エコシステムの参加者がエコシステムの発展に貢献するインセンティブとして設計されています。

ICE METAL COIN の保有者は、プロジェクトにおける条件設定や保有者へのインセンティブ設定、新たなロードマップへの意見などのあらゆる選択に関して、ガバナンス投票することができます。ICE METAL COIN の価値向上のためにはコミュニティによる成長が最も重要であると考えているのでこの投票は非常に重要なものになります。

ICE METAL COIN に関して

ICE METAL COIN の総供給量は 5,000,000,000 枚となっています。トークンエコノミクスは以下の通りです。

Private Sale

ICE METAL COIN は Private Sale を一切行っておりません。

Staking Reward

総供給量の 54%は NFT ユーザーの Staking 報酬として確保されています。Staking 報酬は十分な Reward が Reserve されており、プロジェクト参加者が多くの利益を享受できるような仕組みとなっています。

Initial Liquidity

上場時における発行済み Staking Reward 枚数の 30%が Uniswap の流動性として提供されます。(Staking Reward に含まれる)

Treasury

- 総供給量の 15%は Treasury としてエコシステム拡大のための費用やコミュニティに対する貢献者へのインセンティブ報酬などとして利用が考えられます。

Marketing / Development

総供給量の 13%はプロジェクトのマーケティングや開発用に Reserve されています。

Founder Team

総供給量の 12%は ICE CUBE チームの Founder に Reserve されています。これらの COIN は権利確定まで期間があり、権利確定後も緩やかに放出されていきます。

Advisor

総供給量の 6%は歌舞伎チームの Advisor 報酬として Reserve されています。これらのトークンは権利確定まで期間があり、権利確定後も緩やかに放出されていきます。

Smart Lab プラットフォームプロダクト

・CHAINART ウォレット実装

ユーザーが ICEMETALCOIN を購入するときに、ワンストップで購入することができるウォレット、さらにステーキングシステムを実装し、マーケットプレイ

スにも簡単にアクセスできるようになっています。

- ・ NFT マーケットプレイス「CHAIN ART」

CHAIN ART マーケットプレイスはオフチェーンで管理されているため、ユーザーは高い手数料を払うことなく売買を行うことができます。資産付き NFT「ICE CUBE」のセカンダリー市場として CHAIN ART マーケットプレイスにて販売が可能です。

ロードマップ

2021/8

- ・ アメリカ法人 SMART LAB Inc. 設立

2022/3

- ・ Scott Westpac LLC とのパートナーシップ契約締結

2022/6

- ・ 資産付き NFT (ICE CUBE) 事業化プロジェクト発足

2022/7

- ・ Whitepaper 公開
- ・ 資産付き NFT (ICE CUBE) にてステーキングスタート

2022/8

- ・ 分散型取引所 UniSwap で上場

2022/10

- ・ CHAINART ウォレットにて ICEMETALCOIN の単独ステーキングを実装

2023/1

- ・ ICE METAL COIN の LP ステーキングを実装

2023/3

- ・ 資産付き NFT の償還スタート

TEAM

私たちチームは、多くの経験を持っているイノベーターな経営陣に加え、資産となる鉱石所有会社、芸術財団、NFT 化を承諾してくれた数十以上の芸術家、そして優秀な開発チームによって構成されています。これらチームによって、NFT から収益を生み出し、保有し続ける経済圏の成長を促進していきます。

免責事項

このホワイトペーパーは、目論見書や募集要項を構成するものではなく、また投資勧誘を目的としたものではなく、金融商品や証券の公募や集団投資スキームの提供を目的としたものでもありません。従いまして本ホワイトペーパーの内容は、投資家の皆様の投資判断につながる根拠となる情報とはなりませんのでご了承ください。資産付き NFT「ICE CUBE」(以下「本 NFT」という)及び ICE METAL COIN (以下「本コイン」という)を購入するかどうかは、ホワイトペーパーを読み、十分考慮した上で決定してください。

発行者は、(i)適用される規制要件を確実に遵守するために、ホワイトペーパー及び本 NFT・本コインの保有・使用に関連する文書を変更、(ii)発行者の独自の裁量で必要と判断された場合にはプロジェクト運営または取引の中断、停止または中止を含む(これらに限定されない)、規制要件を遵守するために必要なすべてのことを行う権利を有します。

販売者と、本 NFT・本コインの受領者、または購入者との間の契約は個別に定められた利用規約に準拠するものとします。個別の利用規約とホワイトペーパーの間に矛盾が生じる場合は、利用規約が優先されます。お客様自身の適合性は、発行者がお客様による不適合性を発見した場合でもいかなる責任も負わないものとします。

各国の規制当局は、ホワイトペーパーに記載されている情報の審査ならびに承認はしていません。いかなる法律や規制の要件、または規則においても、同様に審査や承認は受けておりません。このホワイトペーパーの公開、配布、普及は、適用される法律、規制要件、または規則が遵守されていることを意味するものではありません。

本 NFT・本コインは(i)市民、国民、居住者、これらに類する要素を有する自然

人は利用できません。または(ii)アメリカ合衆国を含むがこれに限定されない国、管轄区域、または前述のことが禁止されているその他の管轄区域の法律、規制、その他の慣行および方針によって、私募債の発行、またはその他の時点での本NFT・本コインまたは他のトークンの保有および使用が禁止されている国、管轄区域、またはその中で法人化され、登録され、または管理および支配されている法人は利用できません。